

えちぜん

【教育目標】

強く
やさしく
考え深く

※ホームページ「学校日記」も随時更新しています 令和3年12月23日 新潟市立越前小学校

共にしつとりと学ぶ

校長 山田 里恵子

12月16日（木）に中学校区6年生交流会がありました。越前小学校5名、松野尾小学校19名、巻北小学校86名、計110名の6年生が巻北小学校に集まりました。

越前小学校と松野尾小学校のバスが到着すると、巻北小学校の6年生が、笑顔で手を振り、温かく出迎えてくれました。

交流会では、「つながる」をキーワードに、小グループで「好きなことや物」「中学校で楽しみにしていること」等を伝え合いました。越前小学校の6年生は、最初、人数の多さに圧倒され、緊張していましたが、交流が進むにつれて笑顔になり、自らかかわる姿が見られました。

最後に、巻西中学校の浅見校長先生から、中学校のことを教えていただいたり、「待っていますよ」と温かい言葉を掛けていただいたりし、夢が膨らみました。

交流後、巻北小の6年生は、バスが見えなくなるまで見送り、手を振ってくれました。

昨年度は、コロナウイルスの影響でカードでの交流でしたが、今年度は対面での交流を行いました。来年度から中学生として学習活動を共にする仲間たちと親交を深め、安心して進学への準備を進めることができるよい機会となりました。

6年生は、他校との交流も進めています。12月13日（月）は松野尾小学校とオンラインで総合的な学習の時間で学んだことを伝え合いました。松野尾小学校からは、学校の歴史や地域についての発表があり、越前小学校は、ワイン造りから学んだことを発表しました。17日（金）は、大鷲小学校とオンラインで外国語の授業をしました。互いの修学旅行について、クイズを交えて伝え合いました。外国語の交流は、5年生でも実施しています。

どの交流でも、子どもたちは、相手意識をもち、自分の言葉で伝えることができます。越前小学校は、小規模校の強みを生かし、一人の子が考えを話す機会を多く設定しています。

「浜っ子浜メグリ」での発信や他校との交流の姿から、一人一人が活躍する場を意図的に設定し、個々の学びと成長を支える大切さを実感しました。

当校の目指す子どもの姿の一つに「共にしつとりと学ぶ」があります。今一度その意味を問い直し、小学校から広い世界に出ても、自分ごととして考え、自分の言葉で話し、個性を發揮しながら力強く成長する子どもの育成に努めたいと考えています。



11月17日（水）浜っ子秋祭り

2～6年生がお店を出し、秋祭りを開催しました。みんなが楽しめるよう、内容や方法を工夫しました。分かりやすいルール説明に心掛けました。5、6年生が1年生とペアになり、お店を回りました。たくさんの保護者の皆様にも来ていただきました。学校中が優しさに包まれ、温かい気持ちになるひとときでした。



11月25日（木）外国語で読み聞かせ（5、6年生）

読書週間の一環で、地域の学習ボランティアの方々から読み聞かせをしていただき、本の魅力にじっくり浸りました。5、6年生は、外国語で絵本の読み聞かせをしていただきました。聞いたことのある英語と日本語の解説、挿絵から、子どもたちは、内容を想像して聞くことができました。



12月2日（木）加藤洋子先生が1年生の学習を支えてくださっています

12月23日まで、担任が不在のため、加藤洋子先生が、木曜日と金曜日は1日、火曜日は午前中、1年生の学習を支えてくださっています。加藤先生は、クラスサポーターとして越前小に来られたことがあり、何度も1年生を担当された経験のある方です。その他の日は、教頭が中心となり、1年生の学習を進めています。



12月7日（火）味噌を味わう会

3年生が中心となり、「味噌を味わう会」がありました。地域教育コーディネーターの乙山さん、地域ボランティアの小川さん、保護者ボランティアの皆さんが、朝から浜っ子味噌で味噌汁を作り、5年生が育てた浜っ子米でご飯を炊いてくださいました。弁当の日だったので、子どもは、お家の人と相談し、作ったおかずを持参しました。3年生の素晴らしい司会やクイズで始まり、ボランティアの方々と一緒に、温かい味噌汁やご飯を味わいました。



12月9日（木）地域の連携の会を行いました

警察、スクールガードリーダーの方々をお迎えし、地域の交通安全や防犯について情報交換や協議を行いました。登下校の様子や、不審者対応、危険箇所について、それぞれの立場から、子どもの安心、安全を守るための意見を出し合いました。挨拶や交通安全について、出されたご意見は今後、改善していく予定です。早速、子どもにかかわる内容を14日（火）の地域子ども会で伝えました。

